

パーソナルカラー研究会

Special Interest Group on Personal Color

http://color-science.jp/personal_color/labnews/

主査 宮崎 純子 (Natural Color)

e-mail: sig.personalcolor@gmail.com

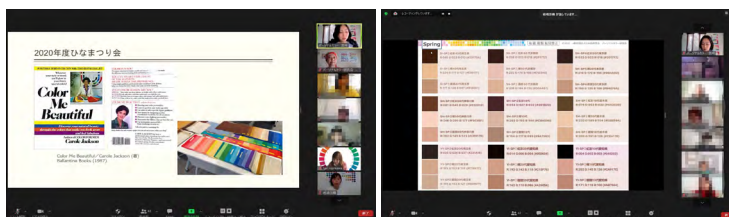
流派や組織を超えて、パーソナルカラーについての理解を深める活動をしています。

◆研究内容や研究会の構成

研究会は、2022年現在、色に関わる活動をされている方々を中心に98名の会員により構成されています。パーソナルカラーは、インターネットや雑誌等で取り上げられる事も多く、その認知度は高まっています。だからこそ、組織や流派の垣根を超えて、カラーリストがパーソナルカラーの理解をより深め、知識を共有していく事が大切であると考え、様々な分野から先生をお招きし、パーソナルカラー診断に役立つ話が聞ける講演会を開催、また、有志を募って勉強会を開催し、その成果を発表する場を設けています。勉強会では、昨年に引き続き、「パーソナルカラーの色名調査」「パーソナルカラーの色素調査」の2つのグループに別れ、それぞれ10名前後で1～2か月に1回ほどZOOMを中心に活動しております。「パーソナルカラーの色名調査」では、流通している11社のドレープの色名を集計し、どのような色名が使われているか、その色の色域を調査すると共に、基準となるべき色名、及びその色域について研究しています。「パーソナルカラーの色素調査」では、4シーズン別に肌色・瞳の色のデータを集め、その傾向・色域を調べると共に、現代日本人に多いシーズンの傾向等を調べています。



昨年開催：メイクアップアーティスト名取瞳氏による講演会～2022年春夏の流行色を取り入れた4シーズン別メイク～



昨年開催：勉強会の研究発表

◆2021年度の活動報告

11月にメイクアップアーティストの名取瞳先生をお迎えし、2022年春夏の流行色を取り入れたメイクを4シーズン別に、実演を交えてご紹介いただく講演会をオンラインで開催。（モデルは、参加者の中から希望者を募り行いました。）全国から56名（学会員：42名、非学会員：14名）の方にご参加頂き盛況のうちに終える事ができました。名取先生には、パーソナルカラーの4シーズン別に流行色の取り入れ方を教えて頂いただけでなく、オンライン講演と言う事で、手元をアップで見せて頂き、メイクテクニックも具体的に細かく教えて頂く事ができました。

3月には2021年度総会とパーソナルカラー研究会内勉強会の研究発表をオンラインで開催。研究発表では、第一部で「パーソナルカラー診断に関わる色素のデータ収集」について、現役パーソナルカラーリストが、診断に基づいて、現代の日本人女性の色素傾向をパーソナルカラーの観点から探っていく調査結果及び考察を発表しました。第二部では、「パーソナルカラー診断に使われている色名調査」について、前年のひな祭り会で行った「パーソナルカラーに使われている色名調査の結果発表」から、更に深く掘り下げ、パーソナルカラー診断の基準となる色名を決められるよう、流派を超えて集まった色名を系統色名に落とし込み、各シーズンの傾向を発表しました。

◆2022年度の活動計画

毎年、講演会と研究発表を1回ずつのペースで行っております。今年度も、9月に美容家・美容師・メイクアップアーティストとしてご活躍の柳延人氏をお招きし、パーソナルカラー診断におけるヘア（髪）についてのお話をお願いしたいと企画中です。色素の1つであるヘア（髪）は、パーソナルカラー診断とは切り離せない密接な関係にあります。参加頂く方々の「聞きたい・知りたい・疑問」をアンケートで集め、髪の専門家にお話し頂けるような構成にしたいと考えております。7月中に参加募集の案内をさせて頂く予定です。

3月には2022年度総会と研究会内勉強会の研究発表を開催予定。昨年より調査・研究を進めている「パーソナルカラー診断に関わる色素のデータ収集」、「パーソナルカラー診断に使われている色名調査」2つのテーマについて、今年の成果を発表予定。他にも、パーソナルカラーについての研究発表があれば募集してまいります。年末頃にはご案内させて頂く予定です。

（講演会も、研究発表もまだオンラインで行うか、対面も含めたハイブリッド形式で行うかは未定。それぞれ案内の際にお知らせいたします。）